

医療福祉相談室における後方支援に係る 地域連携について

令和4年9月7日(水)
総合サポートセンター

医療福祉相談室について

- 患者や家族からの様々な医療福祉相談に対応する総合サポートセンター内のセクション
 - 医療ソーシャルワーカー、退院調整看護師、臨床心理士など18名の職員で構成
 - 主に
 - ① 医療福祉相談(苦情対応含む)
 - ② 退院支援
 - ③ 後方支援に係る地域連携 などを担当
- ⇒効果的な②を行うためにも、③の強化が必要

参考：医療相談・対話推進窓口（令和3年10月～）

●概要

院内における苦情等を一元的受付けるとともに、関係部署と連携して円滑な対応につなげる専門の窓口

●実施体制

医療福祉相談室内の医療相談・対話推進窓口の職員3名体制で対応

●令和3年度実績（令和3年10月～令和4年3月）

相談件数92件（相談・問合せ30件、意見・要望5件、苦情36件、その他21件）

後方支援に係る地域連携の取組

- 後方連携のための関係医療機関等への訪問
 - ① 「顔の見える関係づくり」
 - ② 受入れ先のベッド状況・患者受入れ体制の確認
- ネットワーク拡充のための関係会議の開催
 - ① 市立病院オープンカンファレンス
 - ② 仙台南地域医療連携を考える会

ネットワーク拡充のための関係会議の概要

	市立病院オープンカンファレンス	仙台南地域医療連携を考える会
開始時期(頻度)	令和元年度から (年1~2回)	令和3年度から (年1~2回)
目的	退院後も地域で安心して暮らしていくことができるよう、保健・医療・福祉の関係機関との 医療・介護連携による在宅支援体制の拡充	当院の救急患者さんの円滑な転院等を進めるとともに、 地域完結型医療による地域全体での支援体制の構築
参加機関等	主に太白区、若林区内に存する 訪問看護ステーション 地域包括支援センター 居宅介護支援事業所 など	当院近隣の医療機関 宮城県医療政策課 仙台市医療政策課 仙台市消防局

実施状況

●市立病院オープンカンファレンス

実施年度	テーマ	参加機関数
令和元年度	「当院の救急医療の現状と課題について」	20機関
令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響で中止	
令和3年度	第1回「仙台南地域医療連携を考える会の設立に向けて」	9機関(オンライン)
	第2回「救急入院患者の退院支援の実際」	17機関(オンライン)

●仙台南地域医療連携を考える会

令和3年度	1. 「当院の救急医療の現状と課題について」	12機関(オンライン)
令和4年度	1. 県医療政策課による「医療連携のアンケート結果について」 2. 本市医療政策課による「仙台市における医療のあり方に関する検討会議について」	16機関(オンライン)

今後の取組について

●市立病院オープンカンファレンス

- ・参加機関拡大によるネットワークの拡大
- ・関係機関の職員の資質向上

⇒地域のネットワークの拡充による更なる支援力の向上

●仙台南地域医療連携を考える会

- ・「連携強化型病院※」との協働による新たな連携システムの確立

⇒地域完結型医療の推進による地域全体での支援体制の構築

※当院で急性期治療を終えた患者が回復期リハビリ機能等を持つ病院や施設へ円滑に転院等するなどシームレスな医療が提供できるよう定期的なカンファレンスなどを通して緊密な連携を図る病院